

「神戸未来共創思考サロン」について

企業経営者のアイデアを形に
企業変革を神戸から

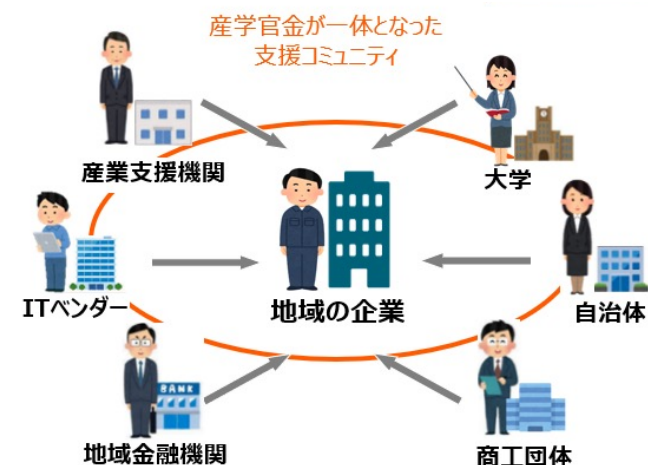
公益財団法人 神戸市産業振興財団

1. 概要

「神戸未来共創思考サロン（Kobe Future Co-creation Salon）」とは？

神戸市産業振興財団がR4年度より開始した
地域企業の挑戦をご支援する伴走プログラムです。

神戸内外の企業経営者の「こうしたい！」という
熱い想いに寄り添い、その想いを丁寧にヒアリングし、
実現可能なビジネスアイデアや事業構想の形にする
お手伝いをさせていただきます。

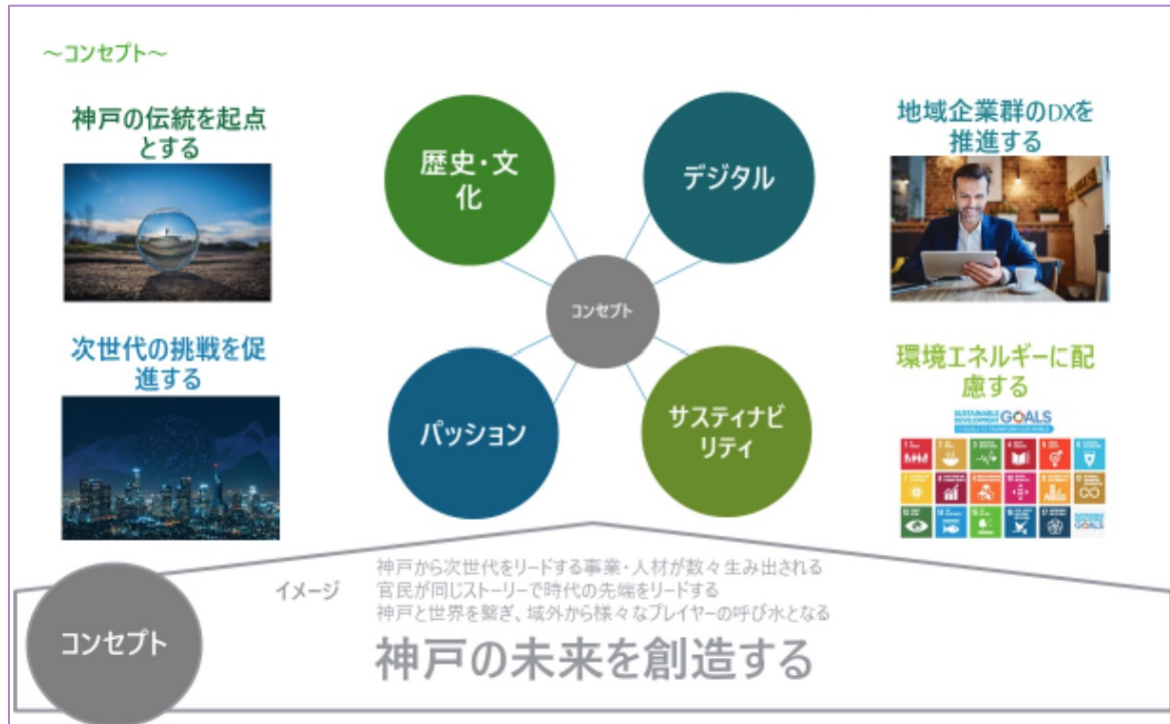


そして、このビジネスアイデアや事業計画に共感いただける
地域内外の共創プレイヤーを巻き込みながら具体的な事業として組成し、
地域内の産学官金の多様な方々の支援コミュニティにも支えていただきながら、
企業変革（DX）を推進し、地域発の製品・サービスの創出を目指します。

2. 事業コンセプト

「神戸未来共創思考サロン」が大事にしている4要素について

以下の4つの要素を持ち合わせる中小企業の新規事業推進を徹底的にご支援することで、次世代をリードする事業・人材が次々と生まれる**神戸の未来を創造**していきます。



各構成要素について

歴史・文化

神戸は国際貿易港として栄え、重工業に加え、諸外国から様々な生活産業および文化がはいつてきた。また風光明媚な地形と海山に囲まれ、こうした地形や環境が豊かな住環境を育んでいる。今後の産業創出にあたり、こうした「神戸らしさ」を**重要視する必要**がある

パッション

今後の神戸産業創出の起点は**地域の尖った経営者の情熱（パッション）**であり、経営者が人生を賭けて挑戦したい思いに寄り添っていくことが持続的な活動を生み出すうえでも重要となる

デジタル

デジタルは1つの手法であり、企業にとって**業務効率化だけでなく、新たな価値創出を生み出す手段**でもある。当事業のDXに照らして新産業創出にあたり、前面で打ち出すことで、上述した「神戸らしさ」をより洗練したものにしてい**く切っ掛け**となる

サステナビリティ

サステナビリティは、当事業自体の**持続可能性というメッセージに加え、環境や人権等のSDGsに対応する取組を想定**する。今後は産業創出にあたり、**社会的価値の追求も重要な要素**として打ち出しが必要となる

3. DXに対する考え方とサロン形成までの流れ (サロン = 共創の場)

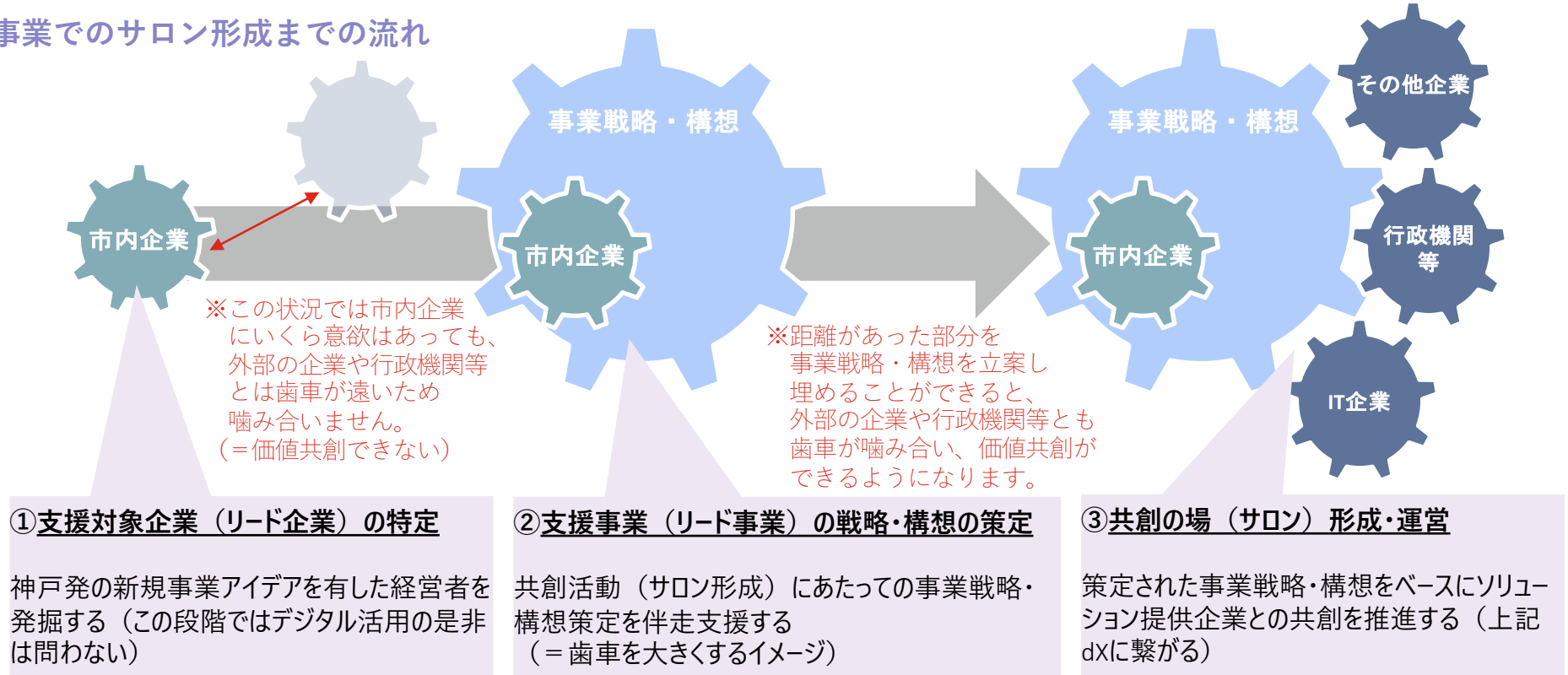
本事業でのDXとは何か？

DXのD (Digital) ばかりが重視されがちな風潮がありますが、本当に重要なのはX (Transformation)、つまり企業変革であると考え、この点を重視した伴走支援を行います。

dx

※主眼は支援企業のXの推進であり、Dはその手段なので X>Dの意味でdを小文字で表記

本事業でのサロン形成までの流れ



4. 本事業の全体像 ～イメージ～

財団スタッフと財団選定の事業プロデューサーによる伴走支援について

①～④のプロセスに沿ってサロンをテーマごとに立ち上げ、一貫してご支援いたします。

支援ネットワーク 構成員



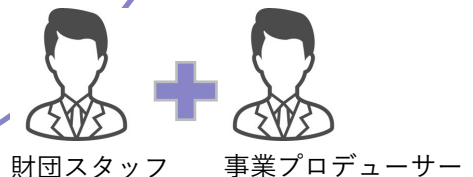
①：地域で次世代リーダーを見つける
(思いのある経営者を発掘し「リード企業」とする)

②：次世代リーダーの構想を見える化する
(リード企業の構想を「リード事業」とする)

③：次世代リーダーの構想を具体化する
(リード事業をサポートできる人材をマッチング)

④：興味を持ったプレイヤーを巻き込む
(リード事業を拡大し価値共創する)

一貫してご支援

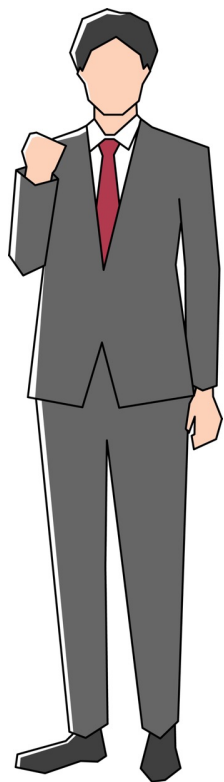


5. 支援を希望される企業・経営者の方について

本事業で伴走支援をさせていただく対象企業・経営者に期待する3要素

本事業は、神戸の地から企業の本質的な変革と新たな製品・サービスを生み出すために
ご支援させていただく企業・経営者様にも以下の①～③の要素を期待しております。

本事業で期待している企業・経営者



①：世の中の変革の起点となるアイデアを有する

自社・自己の強みを活かして単なる販路拡大ではなく特定課題を解決する等の変革を意識したアイデアを既に有している

②：経営者自身が創出された事業を主体的に推進できる

各プログラムに主体的に出席することはもちろん、共創プレイヤーを含めて自身が主導して構想策定、事業後の推進・実現までコミットできる

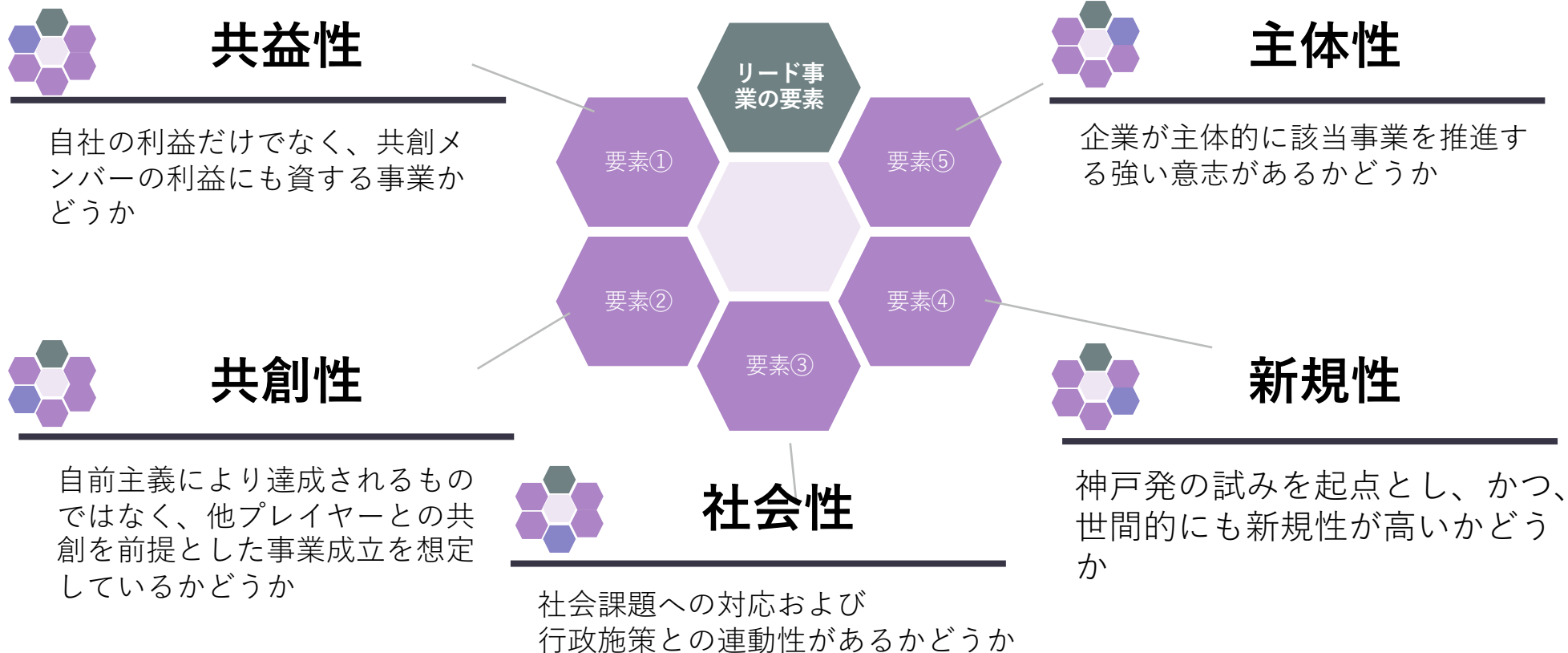
③：神戸発の中長期の共創型の持続活動をめざす

神戸発で全国・世界発信する事業創出を狙うために中長期目線で共創型ビジネスモデル創出に理解がある（以下参考のめざすビジネスモデル参照）

6. 支援の対象となるビジネスアイデアについて

対象となるリード事業に求める5つの要素

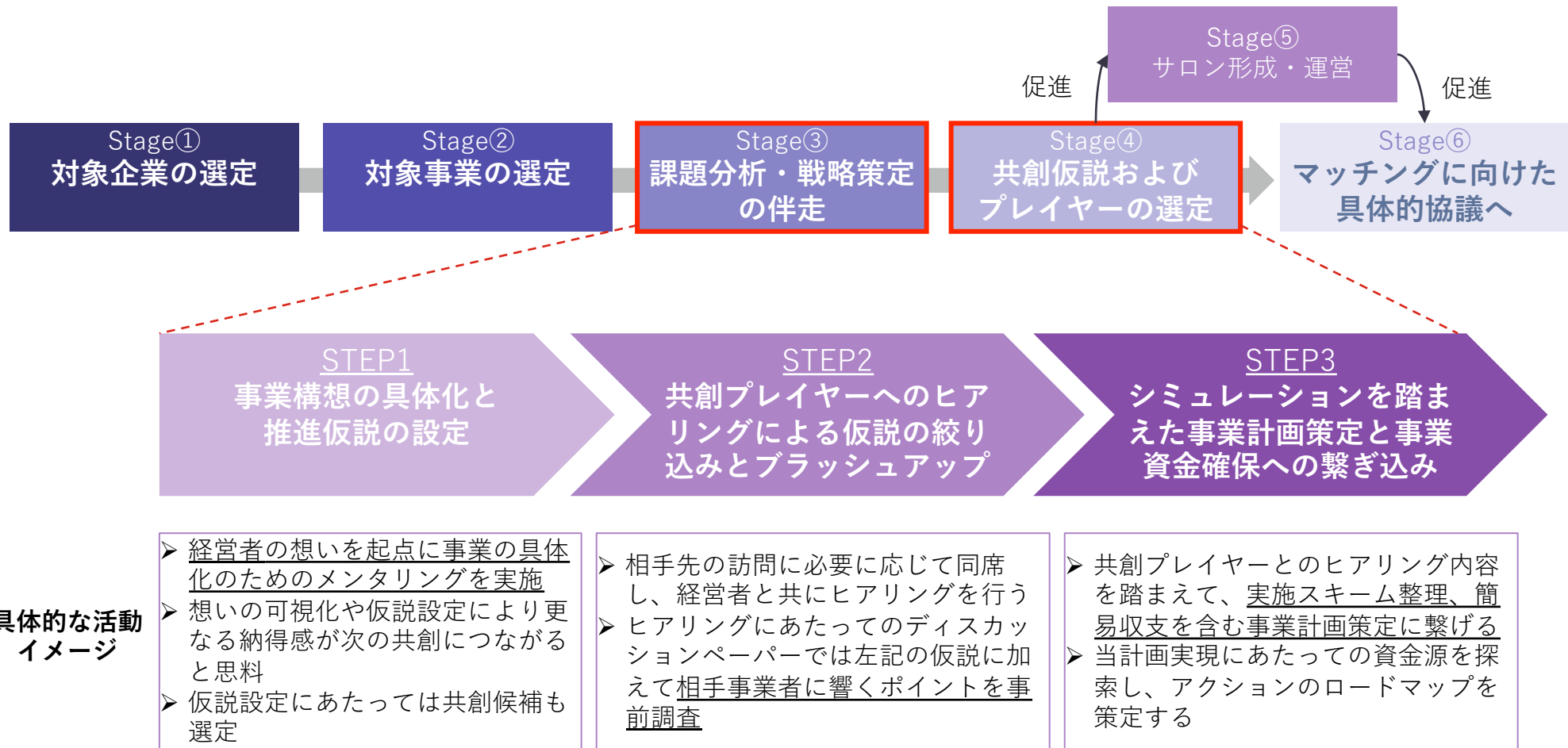
本事業でご支援させていただくリード事業（ビジネスアイデア）には、以下5つの要素があることが望ましいです。十分でない要素も共に磨き上げていきます。



7. 伴走支援プロセスについて

本事業における伴走支援ステージと具体的なステップ

本事業では以下のステージとステップにて伴走支援をさせていただきます。



以上、よろしくお願ひいたします。

<お問合せ先>

公益財団法人 神戸市産業振興財団 産業イノベーション推進部
「神戸未来共創思考サロン」担当

[E-mail] innovation-group@kobe-ipc.or.jp

[TEL] 078-360-3208